TAKUDAI FASHION

WEB連携企画

拓大生ファッションコレクション

［制作］美術研究会

#01

【ゆるさがかわいい オールドファッション風】



木村 さくらさん
デザイン学科 4年（福島県 喜多方桐桜高校出身）

デザイン学科での学びを通じて、自分に何ができるかを常に考え、課題に取り組んできました。その結果、学生Tシャツコンテストで最優秀賞を受賞するなど4年間でさまざまな賞をいただくことができました。また、美術研究会の会長として、展示会や地域の方々と一緒にワークショップなどの企画を実践し、多くのチャレンジができたと実感しています。







FASHION POINT

トップスは、古着屋で一目惚れしたスウェットを着用！オールドファッション風のコーデを意識しています！

制作：中根 優斗さん
デザイン学科 4年
（茨城県 水海道第一高校出身）

#02

【1970年代製の古着でバンドマン再現コーデ】

FASHION POINT

“四角いパンタロン”と呼ばれた、かなり珍しい形のベルボトム。どの角度からでも裾が広がって見えます。

石井 真輝さん
経済学科 4年（千葉県 八千代東高校出身）

60年代後半から70年代前半の音楽やファッションが好きで、LIVEに飛び込み出演したり、暗闇の中で山のように積まれている古着の中からお宝を探したり、日常から70年代のスタイルを貫いています。それらを所属している軽音楽研究会と日本文化研究会の活動や、紅陵祭などで披露し、魅力に気づいてもらおうと日々努力をしています。





制作：中石 涼さん
デザイン学科 2年
（東京都 岩倉高校出身）

CHECK
TACT WEBでは
オリジナル版を掲載中！

「大学からのお知らせ」はここからCHECK!

［SNSはこちら］

X(旧Twitter) @Takushoku_Univ
YouTube Takushoku University 拓殖大学
Facebook https://www.facebook.com/TakushokuUniversity
Instagram @takushoku_univ

TAKUSHOKU UNIV. 2030 NEW ORANGE

University Accreditation Association Japan UNIVERSITY ACCREDITED 2022.4～2029.3

TACT VOL.396 2025 Winter
学報 タクト ｜ Jan·Feb·Mar 2025_VOL.396 2025年2月1日発行 ［広報室］Tel:03-3947-7160（直通）／E-mail:web_pub@dfc.takushoku-u.ac.jp／Web:https://www.takushoku-u.ac.jp

Winter
2025 Vol.396

あたらしい自分が見つかる！拓大生活応援メディア

学報 TACT



特集 私の好きこそ物の上手なれ

拓殖大学

最新トピックスをご紹介!

拓大のいま

2024年後期におけるトピックスをご紹介いたします。

高大連携協定

高大連携関係を結ぶことを目的として、高等学校と高大連携協定(教育提携校)を締結しています。8月8日(木)に文京キャンパスで昭和第一学園高等学校との調印式が行われ、協定書を取り交わしました。さらに、12月には昭和第一高等学校、貞静学園高等学校とも協定を締結。今後も更なる連携展開をしていきます。


昭和第一学園高等学校


昭和第一高等学校


貞静学園高等学校

パリオリンピック報告会

12月2日(月)、文京キャンパスE館 後藤新平・新渡戸稲造記念講堂にて、パリオリンピック報告会を開催しました。今回のオリンピックには、サッカー男子代表・関根大輝選手(経済学科4年)、レスリング男子フリースタイル74kg級代表・高谷大地選手(経済学科2017年卒業)、男子マラソン代表・赤﨑暁選手(経営学科2020年卒業)が出場。高谷選手は見事銀メダルを獲得し、赤﨑選手は6位入賞、関根選手はベスト8と、素晴らしい活躍でした。なお、本学における在学生のオリンピック出場は36年ぶりとなります。報告会は、フリーアナウンサーの長谷川朋加氏(法律政治学科2014年卒業)の司会進行で、高谷選手と赤﨑選手が大会のエピソードや学生へのメッセージを語りました。






(左から)高谷選手、長谷川氏、赤﨑選手

オレンジフェスタ

9月23日(月)文京キャンパスにて第2回オレンジフェスタ～親子でワクワク体験しよう!～を開催。今年度は26ブース出展され、スーパーボールすくい、芳香剤作り、バルーンアート体験を筆頭に大行列となるほどの人気ぶりで、E館前広場には、お祭り気分を味わえる盆踊り会場を設置。1,000人を超える多くの来場者の方にご参加いただき、盛会に終了しました。





「研究倫理・不正防止に関するコンプライアンス研修」を実施

研究活動または研究費業務に従事する教職員などを対象として、研究に係る不正防止対策に関する理解の促進を目的に、毎年研修を実施しています。9月26日(木)の研修では、「研究費の不正使用及び防止策について」をテーマとし、事例報告や防止策の説明などが行われました。また研修後には、理解度チェックテストを実施・分析し、コンプライアンス教育や啓発活動の内容を点検する際の基礎資料として活用します。今後も不正を起こさない・起こさせない組織風土づくりのため、教育・啓発活動に努めていきます。

夏休み子どもいちょう塾で理科教室を実施

工学部が地域連携センターの支援を受け、大学コンソーシアム八王子主催の「夏休み子どもいちょう塾」において、小学生を対象とした理科教室を開催しました。テーマは「ロボット・カーを作ろう」。電子システム工学科常光康弘准教授によるロボットとコンピュータに関する授業の後、サポート学生と一緒にロボット・カーと走らせるためのコースを製作しました。この理科教室を通して、子どもたちにものづくりの楽しさと共同作業の大切さを伝えることができました。



社会安全学科開設に伴い、八王子国際キャンパスE館を整備

4月の社会安全学科開設に伴い、八王子国際キャンパスE館の整備事業が着々と進んでいます。今後も、学生の皆さんが快適な大学生活を過ごせるよう、各施設の整備を行ってまいります。





五島雅治選手が大相撲藤島部屋に入門

12月18日(水)、文京キャンパスで五島雅治選手(国際学科4年)の「藤島部屋」入門記者発表会見を実施。五島選手からは、「拓殖大学の4年間、舛田監督率いる相撲部において押し相撲を磨いてまいりました。藤島部屋に入門後は藤島親方のご指導を賜り更なる成長を遂げ、一日でも早く関取に昇進できるよう稽古に精進します」と挨拶がありました。



(左から)藤島親方、五島選手、鈴木学長、舛田相撲部監督

五島選手のインタビューはP.14-15をチェック

卒業・修了展(デザイン学科&情報・デザイン工学専攻)を開催

2/7(金)~9(日)
文京キャンパスE館8・9階
詳しくは、こちらから

拓殖大学第一高等学校

陸上競技部(男子)が全国高校駅伝大会に16年ぶり3度目の出場

東京都予選会で見事優勝、その後関東大会で総合5位に入賞し、12月22日(日)京都市の都大路が舞台の全国大会に出場し23位となりました。沿道からの応援と、校内では多くの生徒が集結し、中継を見ながら熱い声援を送りました。





1年生の国際理解教育「ディスカッション・プログラム」を実施

単なる語学学修にとどまらず、生徒が主体となって深い学びに取り組み、仲間と協働しながら表現力・発信力を培う探究プログラムを、12月に2日間、3月に3日間行っています。アメリカ、イギリスのほか、メキシコやナイジェリアなど多様な国籍の外国人講師が約60人。生徒は毎時限異なる先生とコミュニケーションをとります。英語をツールとして教養の幅を広げ、日本人としての誇りをもった真の国際人を育成することが拓殖大学第一高等学校の英語教育の目標です。







拓殖大学北海道短期大学

「第58回 農業セミナー」を開催



12月4日(水)、「第58回 農業セミナー」が開催され、一般参加者・学生や教職員など160人が参加しました。「農の力を地域に活かす～地域振興を担う農業の役割～」をテーマに、基調講演では北海道大学大学院農学研究院の東山寛教授が「農山村における地域づくりと農業の役割」について、地域農業が果たす重要な意義を解説。続く講演では、株式会社りんねしゃの飯尾裕光氏が「人と地域を育てる農の多面的機能」として、粗放農業や里山畜養の可能性を提言しました。午後には、株式会社マイファームの西辻一真氏と北海道女性農業者ネットワークの溝口めぐみ氏による講演のほか、パネルディスカッションが行われ、多くの参加者が地域農業の可能性について新たな視点を得る貴重な機会となりました。

「ログハウスプロジェクトお正月・クリスマス体験会」を開催





12月7日(土)、「ログプロお正月・クリスマス体験会」を開催しました。本イベントは、農業を通じて地域とのつながりを深めることを目的に活動している「ログハウスプロジェクト」が主催する恒例行事です。「稲わらで作るしめ縄飾り」や「スライム作り」、「松ぼっくりツリー作り」など、多彩なワークショップが行われました。また、クリスマスカード作りでは個性豊かな作品が次々と完成し、会場は笑顔であふれていました。今後も地域との絆を深める活動を続けていきます。

拓大ミュージカル最終公演

昭和59年から続くミュージカル公演は、今年度をもって開幕します。
2/15(土)・16(日) 深川市文化交流ホール「み・らい」
詳しくは、こちらから

拓殖人材育成 オレンジ募金

「教育ルネサンス2030」の取組、「スポーツ振興強化」の取組、「奨学支援の充実」のためのご支援をお願いいたします。
※寄付金の募集は任意です。

詳しいご案内は、拓殖大学ホームページをご覧ください。
https://www.takushoku-u.ac.jp/bokin/

「オレンジ募金」に関するお問い合せ先
企画部 オレンジ募金係
TEL:03-3947-7377
FAX:03-3947-9940

高額寄付者のご紹介

寄付金累計額100万円以上の寄付者(個人・法人・団体)の方　2024年4月1日～2024年11月30日迄の受入額

〈企業・法人〉社会保険労務士法人 大谷労務 会長特定社員 大谷 祐三 様　80期政治学科(現 法律政治学科)卒
イー・ライフ・グループ株式会社　代表取締役　小川 義行 様　92期経済学科卒、野球部
〈個　人〉藤原 謙二 様　62期貿易学科(現 国際ビジネス学科)卒、山岳部　細羽 強 様　98期経営学科卒、岡山県支部
山本 善政 様　68期経営学科卒、アーチェリー部OB・OG会長
〈団　体〉拓殖大学後援会 様

令和6年度 拓殖人材育成 オレンジ募金受入状況
(2024年11月30日現在)

割合は区分毎に小数点以下第2位を四捨五入しています。このため総計と一致しない場合があります。
※1.代表者が卒業生・在学生である企業・法人です。
※2.複数回寄付者は、1件としています。
※3.支援目的別の金額指定がない場合は「教育ルネサンス2030」の取組に充当しています。

区　分	合　計				支援目的別(※3)		
					①「教育ルネサンス2030」の取組	②「スポーツ振興強化」の取組	③奨学支援の充実
	金額(円)①+②+③	金額割合	受入件数(※2)	受入件数割合	金額(円)①	金額(円)②	金額(円)③
卒業生	5,046,200	24.6%	105	72.9%	3,145,700	1,557,500	343,000
卒業生保護者	150,000	0.7%	4	2.8%	120,000	20,000	10,000
在学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0
在学生保護者	185,000	0.9%	10	6.9%	70,000	95,000	20,000
役員・教職員(退職・非常勤含む)	10,799,000	52.7%	15	10.4%	10,419,000	200,000	180,000
企業・法人(卒業生・在学生)(※1)	2,200,000	10.7%	3	2.1%	500,000	1,400,000	300,000
企業・法人(一般)	750,000	3.7%	3	2.1%	750,000	0	0
団体等	1,142,000	5.6%	2	1.4%	542,000	300,000	300,000
一般有志	200,000	1.0%	2	1.4%	200,000	0	0
総　計	20,472,200	100.0%	144	100.0%	15,746,700	3,572,500	1,153,000

返礼品類提供企業募集(お願い)
拓殖人材育成オレンジ募金では、卒業生が経営する企業の商品・提供サービスを返礼品メニューとして取り扱います。ご協力いただける方やご活躍されている卒業生の情報をお持ちの方は、右記連絡先までお知らせいただきたくお願いいたします。 E-mail:bokin@ofc.takushoku-u.ac.jp

KOURYOUSAI

3連休だよ！
紅陵祭へ全員集合！

In 文京キャンパス

紅陵祭 開催レポート

11月2日（土）～4日（月）の3日間、文京キャンパスにて紅陵祭が行われました。卒業生や保護者の皆さま、近隣住民の方などを合わせて約6,100人の方にご来場いただきました。各プログラムの様子を紹介します。



11.2 SAT のど自慢大会

今回初開催となるのど自慢大会では、学生、教職員を含め18人が出場。当日の飛び入り参加枠でも多くの方が参加しました。



Special Guest

11.3 SUN Talk and Live

アニメ「ONE PIECE」の主題歌『ウィーアー!』を代表曲とする歌手のきただにひろしさん、アニメ「ポケットモンスター」のサトシ役や、Wミリオンを記録した主題歌を歌う松本梨香さんによるトーク&ライブを開催しました。




きただにひろし

松本 梨香

11.4 MON お笑いライブ 2024

今年のお笑いライブでは、今が旬の人気芸人「男性ブランコ」「マルセイユ」「ビスケットブラザーズ」の3組が出演しました。


男性ブランコ


マルセイユ


ビスケットブラザーズ

特別企画 マジックショー

「月曜から夜ふかし」でお馴染みのマジシャンGOさん（電子システム工学科2017年卒業）によるマジックショーが行われました。





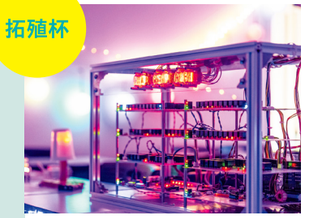






受賞団体

拓殖杯



電子工作愛好会
作品展示（教室企画）

日々の成果を遺憾なく発揮し、主体的に取り組み、紅陵祭を最も盛り上げ、華を添えた参加団体
【対象：全企画】



紅陵杯



ビートルズ研究愛好会
ビー研へようこそ！

団体の特色を活かし、発表形式・内容共に、十分な理解度、完成度を備えた参加団体
【対象：教室企画】

紅励杯



ダンス愛好会（Rude Alive）
ストリートダンス

斬新なアイデアやユニークな企画を盛り込み、来場者の注目を集めた参加団体
【対象：ステージ企画】

模擬店賞

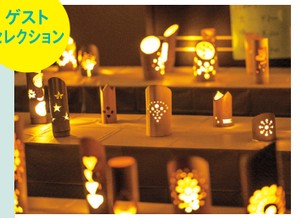


コーヒー愛好会
コーヒー販売

野外模擬店企画において斬新なアイデアやユニークな企画を盛り込み、来場者の注目を集めた参加団体
【対象：野外模擬店企画】

学生チャレンジ企画採択団体！
企画の詳細はP.6-7をチェック!

ゲストセレクション



Bamboos
竹の可能性 様々な魅力を伝えるプロジェクト（教室企画）

来場者からの注目を浴び、来場者投票で最も多くの票を集めた参加団体
【対象：全企画】

審査員特別賞

審査員の印象に残る催しを行った魅力的な参加団体
【対象：全企画（対象がある場合のみ）】



ACG（美術、写真、書道研究会）
誰かの見たオレンジ展（教室企画）



学生健康保険委員会
ケンポ君のチョコバナナ（野外模擬店企画）





語劇祭 REPORT

In 八王子国際キャンパス

今年度、第86回となる、語劇祭（キャッチフレーズ『音が語る、舞台が奏でる』）が12月7日（土）・8日（日）の2日間、八王子国際キャンパス麗澤会館90年記念ホールで開催され、盛会裡に終了しました。

受賞団体

拓殖杯

語劇力・舞台装置・演劇・作品の構成等、最も印象に残る劇をした参加団体

動画制作愛好会・関口美幸ゼミナール「隣人」



優秀賞

語劇力・舞台装置・演劇・作品の構成等、拓殖杯に次いで印象に残る劇をした参加団体

アラビア研究会「～アジュワデーツはどこですか?～」



最優秀個人演技賞

演技が最も優れていた個人

荊 伊諾（国際日本語学科 3年／動画制作愛好会・関口美幸ゼミナール）



新進気鋭賞

一年生を対象とし、今後に期待を持てる個人

佐藤 駿弥（国際学科 1年　アラビア研究会）

ゲストセレクション

来場者からの注目を浴び、来場者投票で最も多くの票を集めた参加団体
【対象:全企画】

中国研究会「熊出没」



審査員特別賞

審査員の印象に残る催しを行った魅力的な団体
【対象:全企画（対象の団体がある場合のみ）】

アカペラ同好会「三歌月」



参加団体

外国語劇発表団体（5団体3カ国語）

- アラビア研究会（アラビア語）※
- インドネシア研究会（インドネシア語）※
- 中国研究会（中国語）
- 渡邉俊彦ゼミナール（中国語）
- 動画制作愛好会・関口美幸ゼミナール（中国語）

※事前収録した動画を上映

文化活動発表団体（3団体）

- アカペラ同好会「三歌月」
- ビートルズ研究愛好会
- K-POP愛好会「Les Ailes」

語劇祭の様子（アーカイブ映像）

12/7（土） https://www.youtube.com/live/LgN-UDGFOE8

12/8（日） https://www.youtube.com/live/zVnnx34QPDI

※予告なく削除される場合がございます。

#視点を変えると社会貢献や国際交流に繋がるかも？

#やりたいことが就活のネタになる！

学生 チャレンジ企画

2025年度 第16回 開催決定!!

コレって社会貢献かも!?

gakuchalle

2025年3月に特設Webサイトが
よりわかりやすくリニューアル!!

参加学生のアンケートが見られるよ!

Check!





#学生時代にチャレンジしたいことってあるよね？



第13回チャレンジ大賞受賞企画

代表 淺川（あさかわ） 愛梨（あいり）さん

国際ビジネス学科 4年（福島県 会津高校出身）

Point! 01

どんな事も社会貢献につながる!

拓殖大学での学びやクラブ・サークル活動、仲間との会話の中、ちょっとした気づきから生まれるアイデアを社会貢献や国際交流につなげてみませんか?


個人で


ゼミ仲間で


クラブ・サークルで


友人同士で

Point! 02



アイデア実現を大学がサポート!

皆さんのアイデアを実現するために大学が全力でサポートします! 活動資金や企画支援を通じて、社会や地域への貢献を応援します。

企画内容に応じた
活動資金や実現のサポート

採択企画には

活動支援金

（1企画）最大30万円

活動成果の
表彰・賞金授与

チャレンジ大賞	5万円
チャレンジ賞	3万円
奨励賞	1万円



2024年度 第15回表彰

チャレンジ大賞

『日本とベトナムの文化交流〜in Vietnam』

ベトナムの高校生たちと日本の懸け橋に

団体名

日越カルチャー





チャレンジ賞

『Special carD GameS〜環境問題の現状を知ろう〜』

カードゲームで楽しく環境問題を学ぶ

団体名

ES（Environment Savers）





奨励賞

『竹の可能性 サステナブルな資源活用』

竹を用いた工芸品を通して
竹製品のメリットや認知度を高めたい

団体名

Bamboos





奨励賞

『エルデネ・プロジェクト2024』

廃棄されるフェルトを有効活用し
モンゴルの遊牧民に仕事を

団体名

エルデネ・プロジェクト実行委員会





受賞企画の
内容やコメントは
こちら

世界で活躍する拓大生との絆

海外在住卒業生訪問研修は、今年度の夏期に3支部で行い、春期はさらに2支部で実施予定です。ここでは、9月にロサンゼルス、香港・マカオでの研修に参加した学生および現地で迎えてくださった卒業生の方に研修についてお話を伺いました。研修への参加を検討中の在学生の皆さんや海外で働くことに興味がある方へのアドバイスも必見です!



学友会海外在住卒業生訪問研修とは?

建学の理念に基づき、将来海外で活躍することをめざす意欲的な学生を、卒業生が組織する「学友会」の国外支部が受け入れています。研修の費用については、一部を学友会が補助。現地で活躍する卒業生や現役大学生との交流を通じて、国際的な視野を持ち、積極的にチャレンジできるタフな拓殖人材を育成するきっかけを提供します。



応募資格について…

- **当該研修国への渡航歴のない者**
- **拓殖大学の歴史と文化をよく理解し、本学学生としての誇りを持てる者、また良き卒業生(先輩)となる者 など**

① ジャカルタ(インドネシア)

研修期間:8日間　参加人数:2人
※2024年度実績

2017年に研修スタート。先輩方の職場を訪問してお話を伺うほか、自分たちで主にジャカルタ市内のさまざまなスポットを散策してインドネシアの文化や歴史を学びます。研修生が将来海外で飛躍することを願って組まれたプログラムです。





主な観光地

- イスティクラル・モスク
- カリバタ国立中央英雄墓地
- コタトゥア(バタヴィア)　など
- ジャカルタ大聖堂
- 独立記念塔(モナス)

② ハノイ(ベトナム)

研修期間:7日間　参加人数:2人
※2025年3月実施予定

初めて実施されたのは2023年3月。主な研修内容は、卒業生が勤務する企業の見学・意見交換などです。また、学友会メンバーを交えた懇親会や、世界遺産であるハロン湾への観光も行われました。







③ ヤンゴン(ミャンマー)

※現在のところミャンマーでの研修の実施は未定です。

2017年からの3年間で計9人が参加。7日間にわたって、卒業生の勤務先や工場への訪問、ヤンゴン外国語大学の学生との交流会などが行われました。外国からミャンマーへの投資が活発だった当時、社会が変化し躍動する様子を体感してもらいたいとの思いで実施されました。




④ ロサンゼルス(アメリカ)

研修期間:7日間　参加人数:2人
※2024年度実績　※2025年3月実施の研修では1人(予定)

2015年に研修スタート。2023年度、2024年度は春・夏の受け入れがあり、2025年3月で第10回を迎えます。2024年夏の研修では、先輩方の会社訪問のほか、ロサンゼルス中心部の有名スポットやUCLAキャンパスの見学、現地スーパーマーケットの視察などを行いました。





[参加学生の声]

伊藤(いとう) 胡晴(こはる)さん　国際学科 2年(北海道 幕別清陵高校出身)

参加した理由は?

海外への最初の一歩を踏み出したかったからです。将来は国内外で公認心理師として働きたいので、研修先はUCLA などで心理研究が盛んに行われているロサンゼルスを選択。現地で学び、自身の進路を明確にしたいと考えました。

研修中で心に残ったエピソードなどありますか?

先輩の会社へ訪問した際、ランチミーティングで従業員の方々と交流したことです。それまで英語で会話する機会はあまりなかったので、自分の語学力を確かめる良い機会となりました。

参加して変わったことは?

海外へ行くことへのハードルが大きく下がりました。最初こそ不安でしたが、1週間元気いっぱいで過ごすことができ、海外という未知の世界をより身近なものに感じることができました。



参加を検討している学生にアドバイスをお願いします

この研修は経済的負担が比較的少なく、先輩方のサポートで安心して海外を経験できます。思い切って参加して視野を広げ、大学生活をより充実させましょう!

[現地卒業生の声]



荻野(おぎの) 博(ひろし)さん　ロサンゼルス副支部長／経済学科 1982年卒業

協力することになった理由は?

私は日本企業に3年間勤めた後、拓大の先輩を訪ねて1985年、25歳で渡米。その直後からロサンゼルス支部にて活動しています。本研修は2014年、支部から「招待ホームステイ」を提案して始まりました。学生個人の興味・要望にあわせ、現地で生活する人々と接し、多様な習慣や考え方があることを実感できる研修内容を考えています。

研修を通して学生の変化や成長を感じますか?

帰国後に学生が書いた報告書を読んで、そのように考えていたのかと知ったり、数年経ってから連絡をもらい、成長したなと感じたりすることはあります。卒業時に「拓大に入学して良かった」とメールをもらったこともありました。

海外で働くにあたって必要なことは何だと思いますか?

まず、健康と体力。そして若いうちは素直さと実行力でしょう。日本にいてはわからないことが世界にはたくさんあります。自分にとって暮らしやすい場所は日本ではないかもしれない。若いうちにいろいろな国を体験することを勧めます。

⑤ 香港・マカオ

研修期間:4日間　参加人数:3人
※2024年度実績

2014年から毎年実施しています。2024年夏の研修では、先輩の企業を訪問してケーススタディなどに臨み、ビジネスや教育など研修生各人が関心のあるテーマを深耕。さらにマーケットや飲茶などの体験を通して現地の伝統や生活にも触れました。





[参加学生の声]

大塚(おおつか) 慎也(しんや)さん　国際学科 3年(宮城県 仙台第一高校出身)

参加した理由は?

大学で日本語教員養成講座を受講して海外で働く選択肢が生まれ、それを実現できるか見極めたいと思ったからです。香港には日本語学校が多く、過去の研修では実際に日本語学校勤務の方との交流もあったと知って参加しました。

研修中で心に残ったエピソードなどありますか?

先輩方に「蔵修息遊」という言葉を教わりました。知識を蔵に貯めて修め、息をするように使い、遊ぶように応用する。現代にも通ずる礼記の言葉で、日本語教員になる目標に向けて身が引き締まりました。

参加して変わったことは?

母校に対する誇りが強まったと同時に、日本人である自分を俯瞰的に見つめ直すことができました。先輩方が拓いてくださった道を、誇りをもって歩んでいけるよう努力を重ねたいです。



参加を検討している学生にアドバイスをお願いします

私は香港の歴史や政治だけでなく、拓大の歴史もしっかり頭に入れて研修に臨みました。何を学びに行くのか目的意識を明確にし、限られた時間内で多くのことを学べるよう心がけてください。

[現地卒業生の声]



加藤(かとう) 博紀(ひろき)さん　香港・マカオ支部／経済学科 1989年卒業

協力することになった理由は?

私は26才で香港に渡り、現地の日系企業に就職。3年後に独立起業しました。香港・マカオ支部には、当時から私がたいへんお世話になり、また影響を受けた先輩がおられます。この研修は2014年、その方が個人的な思いで3人の学生を香港に招待したことから始まったもので、そのご意志を継いで研修に協力しています。日本の若い人材の教育に少しでも貢献できることに意義を感じます。

研修を通して学生の変化や成長を感じますか?

最終日に空港に見送りに行くと、ほとんどの学生の目が初日よりも輝いているように思います。学生たちが卒業生から拓大の歴史や実績を聞き、「海外雄飛」の伝統と先輩後輩のつながりの中でこうした研修機会が実現していることの意味を理解し、拓大生としての自覚が目覚める瞬間に立ち会えるのはうれしいことです。

海外で働くにあたって必要なことは何だと思いますか?

当然ながら、まずは語学力です。特に英語は確実に必要。たとえ中国語圏で働くため中国語を勉強するとしても、英語は必須です。

問い合わせ　●文京キャンパス A館1階 国際課　●八王子国際キャンパス 管理研究棟1階 八王子国際課

Graduate Interview

社会で活躍する拓大生



NAME: ISHIHARA_MAYUMI

石原 真弓（いしはら まゆみ）さん

株式会社マザーハウス
コーポレート部門 人事
グループ統括マネージャー

［PROFILE］

山梨県出身。2004年、国際開発学部開発協力学科（現 国際学部国際学科）を卒業。教育出版会社で約2年、国際NGOで約6年勤務した後、2012年にモノづくりを通じて、途上国の可能性を届ける株式会社マザーハウスに入社。「ビジネスの関係を通して途上国と関わりたい」という思いを叶えた。5年間の店舗経験を経て、2017年9月より現職。採用・育成から労務、福利厚生などの制度整備まで、人事グループの業務を担当している。

拓大で学んだ、「現地に行って確かめる」姿勢で夢を実現。

株式会社マザーハウスは「途上国から世界に通用するブランドをつくる」という理念を掲げて2006年に創業した会社です。バングラデシュ、ネパールなど6か国で雑貨やアパレル製品を企画・生産し、国内外の店舗で販売しています。

開発途上国に関わる仕事に就くのは、10代の頃から私の夢でした。大学進学の2000年は、ちょうど拓殖大学に国際開発学部（現 国際学部）が創設された年。「現地で活躍できる人材を育成する」という言葉に惹かれて、同学部の開発協力学科（現 国際学科）を受験しました。

卒業後は国際NGOをめざしましたが、新卒を採用しているNGOはほとんどないため、一般企業で2年間の社会人経験を積んだ後、公益財団法人オイスカに入職しました。農村支援を通じて現地のリーダー人材を育てるという、当時私が最も共感する活動をしていたからです。その6年後、ビジネスの世界へ転身した背景には、私の課題意識の変化がありました。

技術指導などの支援はたしかに現地の役に立ってはいますが、いくら技術が向上して良い製品をつくることができても、出口、すなわち売り先がなければ収入に結びつきません。そこを解決するのがビジネスではないか、と考えたのです。販売を前提として良いものをつくり、その利益を現地に還元する。マザーハウスというベンチャー企業が、まさにそんなビジネスを体現していると知り、再び転職に踏み切りました。ショップ店員からスタートし、約5年間販売に従事した後、人事へ異動。採用・育成に始まり現在まで、組織の拡大に合わせた各種制度の整備に携わっています。

大学時代に学んだことのうち、いちばん良かったのは「外に出て自分の目で確かめる姿勢」が身についたことでしょうか。意欲的な同期生たちに感化され、マレーシアでの短期研修、シンガポールへの自費留学、東北タイ農村の現地調査参加など、機会を見つけては海外に出かけたものです。

若者が内向き志向になったと言われる今、私もそれは感じています。ただ、外に目を向けるにはきっかけも必要。先日は、国際学部の授業内で在学生向けにお話しする機会をいただきました。直接触れ合うことで途上国に興味を持ってくれる人は確実にいるとわかり、きっかけづくりの大事さを再認識したところです。

情報があふれる現代、SNSを見れば何でもわかった気になれます。しかし、学生のみなさんは、そこで終わりにせず「本当はどうなんだろう?」と考えてみてほしいのです。詳しい人に話を聞きに行くだけでもいいでしょう。一歩外に出てみることで得られることがたくさんあるはずです。



大学1年次に参加したマレーシア研修。温かく迎えてくれたホストファミリーと（1）。卒論の調査で訪れた東北タイ。NGOで途上国に関わりたいという思いを強くした（2）。オイスカでフィリピンの養蚕農家へインタビューした時の様子（3）。所属していたゼミの吉田先生、ゼミの同期と一緒に出場したマラソン大会（4）。

〈 石原 真弓さん SCHEDULE 〉

WEEK DAY

- 7:30 起床
- 9:30 出勤
  メールやチャット確認。スタッフから届く問い合わせなどへの返信。
- 10:00 ミーティング
  人事担当者と地域ごとに店舗を統括するエリアマネージャーで、「出店計画の動き」「人員状況の確認」「体制の議論」などを行います。
- 11:30 採用関連業務
  応募者の方への選考結果連絡や面接の設定、面接など。
- 13:00 ランチ
- 15:00 面談
  チームメンバーと1対1で面談を行っています。
- 17:00 労務関連業務
  給与対応や勤怠管理、スタッフからの問い合わせ対応など。
- 19:30 退勤
  退勤までの時間はメールチェックや翌日の準備ほか、制度など新しいアクションなどを考える時間にしています。
- 20:30 帰宅
- 24:00 就寝





ロングインタビューはTACT WEBへ! https://tac.takushoku-u.ac.jp/

研究最前線

Teacher's Eye



工学部

水野 一徳（みずの かずのり） 教授

茨城県出身。1972年生まれ。筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。博士（工学）。2006年、拓殖大学工学部情報工学科専任講師として入職。2009年、准教授、2017年、教授。2023年より理工学総合研究所長。専門は知能情報学などで、知識処理、制約充足問題、組合せ探索アルゴリズム、マルチエージェントシミュレーションと可視化、進化計算などの研究に従事。Excellent Paper Award（TAAI2019）、Merit Paper Award（TAAI2021）など学会などでの受賞多数。技能五輪国際大会選手強化委員会はじめ国内外の学術団体そのほか機関での活動多数。主な著書（共著）に『情報ネットワーク（オーム社）』、『一般情報教育（オーム社）』などがある。

研究テーマ

計算機による知的問題解決とシミュレーション

コンピュータにとって解くのが難しい問題とは？

人工知能や人工生命の分野に興味があり、いくつかのテーマで研究を進めています。そのひとつが、コンピュータにとって解くのが難しい問題について、人間の知識や経験に基づく処理の仕方などを応用して、なるべく効率的に解けるような仕組みを考えることです。といってもなかなか難しいので簡単な例を挙げてみましょう。

みなさんは今日着ている服をどうやって選びましたか?シャツ、パンツ、スカート、帽子、靴下…。どれも複数持っているでしょうから、組み合わせは結構な数になります。その中から、気温や天候、色合い、その日の気分など、さまざまな条件で取捨選択した結果が、いま身に着けている服の組み合わせです。

服ならば要素はさほど多くありませんが、要素数が増えていけば組み合わせの数は膨大になり、最適解を探すのはもっと難しくなります。たとえば、ある病院で数十人の看護師の1か月分のシフトを組むとします。全員、年齢も経験も技術レベルも違うので、新人ばかりの日があってはいけないし、それぞれ用事で休みたい日や夜勤ができない日もあります。連続勤務は何日まで、という規則もあるでしょう。看護師長さんはそうした制約条件を考慮しながらシフトを組むわけで、これはかなり大変な作業のはずです。

こうした多数の制約条件の中で満足する組み合わせを探すことは、実はコンピュータにとって難しいタスクなのです。専門的な言い方をすると「多項式時間」※では解けない種類の問題で、現実の世界には数多く存在します。何の工夫もせずコンピュータに計算させたら、私たちが生きている間には解が見つからないような問題も少なくありません。それらをなるべく効率的に解く工夫、つまり、現実的な時間内でなるべく品質の高い解を見つけるアルゴリズム（計算方式）を開発するのが、私の研究のメインです。

具体的な方法のひとつは、人間の知識を使った処理の仕組みを取り入れることです。コンピュータがそのままやると何日もかかり得るシフト組みのような作業を、看護師長さんが限られた時間でできるのはなぜか。それは、人間が知識や経験によって「これは解になり得ない」という選択肢を予め検討対象から排除できるからです。こうした仕組みの一部でもアルゴリズムに取り入れるべく、その意味での「人工知能」の研究を進めています。

※多項式時間…コンピュータの計算理論において、問題を解く上で必要な計算時間が、問題の規模（組み合わせの要素や繰り返しの数）をn、定数をkとしたとき、nの多項式すなわちn^kで表されるもの。計算時間の上限を容易に見積もることができる。（出典：デジタル大辞林）

研究とは「いかにプロセスに集中できるか」

研究の特徴・面白さ

生成AIとは異なるアプローチの人工知能研究

人工知能というと、急速に普及している生成AIを想像する人が多いでしょう。しかし、私たちのアプローチはまったく異なります。いま実用化され脚光を浴びている生成AIは機械学習によるもので、膨大な学習データに基づいて解を見つけます。逆に言うと、学習データに存在しないものからは解を導けません。

でも、人間は限られたデータしかなくても知識や経験により解を出す（判断する）ことができますね。人間のその部分をうまく取り出せないかというのが我々の研究です。機械学習でも将棋でプロ棋士に勝つAIはできつつありますが、私たちが模索するのは、人間自身にもわかっていない領域の知的な処理を引き出して、人間には思いつかないような指し手を繰り出すAIなのです。



台湾で開催された人工知能の諸技術に関する国際会議（TAAI2019）にて、「Excellent Paper Award」を受賞。写真は授賞式の様子。左が水野先生。



シンガポールで開催された知的自律システムに関する国際会議（ICoIAS2020）にて、当時の指導学生の発表に対して「Excellent Oral Presentation賞」が授与されたときの写真。左から2番目が水野先生、3番目は発表（受賞）した指導学生。
※この会議は、2020年2月26～29日に開催。実はこのとき新型コロナが流行しはじめたときで、開催できるかどうかという状況で強行参加したので印象に残っています（もちろん学生さんが受賞したという意味でも印象深いですが）

研究に必要なもの

「損得」を考えずに熱中できるかどうか

どんなテーマの研究も同じですが、実は研究と学力はあまり関係がありません。必要なのは頭の良さではないのです。あるテーマに興味を持ったら、将来それが何の役に立つのかなどと考える前に、これが今の自分のやるべきことだと信じてどっぷり浸れるかどうか。言うならば損得を脇に置いて熱中できるかどうか。それが大事だと思います。

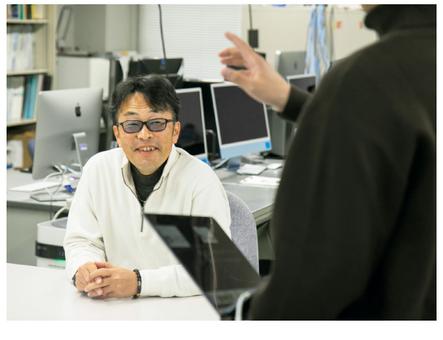
達成すべき目標を持ち、どうやってそこにたどりつくかを考えるのが研究です。たどりつけないならやっても仕方ないとは考えず、その過程を楽しむこと。結果的にたどりつけなくても、そのプロセスで身につけたものは決して無駄になりません。別の分野でいきることはたくさんあります。

在学生へのメッセージ

勝てるとわかっている試合なんて面白くない

今は世の中全体が「守り」に入っている感じがしますね。結果が保証されていないと動かない・動けない人が増えているように思います。でも、最初から結果が保証されていることなど世の中にはありません。

スポーツでも、必ず勝てるとわかっている試合なんて面白くないでしょう。結果は戦ってみないとわからないし、これをやったら必ず勝てる練習法なんていうのもない。それでも練習するのです。その練習を無駄にしないための条件が、先を考えず、今やっていることに集中して懸命に取り組むことなのです。どうぞ、見えない将来を信じる力を持ってください。



ロングインタビューはTACT WEBへ! https://tac.takushoku-u.ac.jp/

私の好きこと物の上手なれ

ずっと頑張ってきたことを卒業後も続けていく。
そんな「好き」を極めた4年生たちに学生生活を振り返り、
ずっと努力してきたことが自分の夢につながった。
将来への決意や後輩へのメッセージを語ってもらいました。

1 推し活

メッセージ性や「癒し」を通じて
人々に活力をもたらす



在学中は累積GPA3以上を維持する目標を立て、自らの課題を洗い出すなどして成果を出してきました。このことが、希望する大好きなキャラクターによるコンテンツビジネスを展開する企業への就職につながったと思います。大学で学んだマーケティングや消費者心理の知識をいかし、キャラクターの持つ可能性を広げるのが夢。人生、何か一つ好きなものがあれば、それが救いやモチベーションにつながります。たくさん遊びたくさん学んで素敵な学生生活を送ってください。



伊藤（いとう） 日菜（ひな）さん
経営学科 4年
（山梨県 甲斐清和高校出身）

2 レスリング



もっと強くなりたくて、オリンピックに3回出場経験を持つ監督が率いる拓殖大学レスリング部に入りました。2年次の天皇杯全日本選手権大会では1回戦で敗退し、すごく悔しくてどん底まで落ちました。でも、諦めず試行錯誤しながら練習した結果、翌年は優勝。「どんなにしんどくても簡単に諦めない」というのが、自分の成長したところかと思います。卒業後も選手として競技を続けます。まずは全日本選抜選手権での優勝、さらに世界で勝つことをめざし、レスリングに限らず世界で活躍できる人になるのが目標です。



三浦（みうら） 哲史（さとし）さん
国際学科 4年
（京都府 網野高校出身）

5 サッカー

結果の保証はなくても
練習すれば
自分の成長を感じられる



プロ選手をめざし、レベルの高い拓殖大学サッカー部に入部。毎日とにかく練習しました。自主練習でサッカー場の壁を相手にパスをしまくったことは良い思い出です。シンプルにボールをたくさん扱ったことで、自分の武器である足元の技術を磨くことができました。日々切磋琢磨できるすばらしい仲間がいて、サッカーでも授業でもみんなと励まし合えた、かけがえのない4年間。卒業後は念願のプロとなった今以上に、常に上を狙い、ファンやサポーターに愛される選手をめざします。



日野（ひの） 翔太（しょうた）さん
経済学科 4年
（東京都 堀越高校出身）

3 コミュニケーション



大学祭実行委員会で活動し、4年次には委員長を務めました。私は元来、みんなで協力して何かを作り上げることが好き。大学祭はまさにそんな魅力的な場でした。この活動を通して、周囲を見る力、判断力や決断力が身につき、また多方面と関わることで成長できたと感じます。大学祭を成功させるには、自治体や事業者を含め学内外の多くの方々と協力する必要があるからです。今後も、自分が身を置くコミュニティを大切にし、いま自分にできることに全力を注ぐスタイルを守っていきたいです。



坂下（さかした） 瑞紀（みずき）さん
経営学科 4年
（埼玉県 新座総合技術高校出身）

4 陸上



多くの方に応援してもらい
最高の仲間と出会えた4年間

監督の熱意に惹かれ、練習環境にも恵まれた拓大を選びました。陸上の魅力は、1対1の対戦競技と違い、自分の努力がダイレクトに結果につながるところ。個人的には1年次の全日本大学女子駅伝3位入賞がとても印象に残っています。大学での4年間、陸上を通じて良いことも悪いこともたくさん経験し、心身ともに成長できました。卒業後は実業団で競技を続け、世界で活躍できるように頑張ります。目標はマラソンでオリンピックに出場して金メダルを獲得することです!



不破（ふわ） 聖衣来（せいら）さん
国際学科 4年
（群馬県 高崎健康福祉大学高崎高校出身）

6 相撲

技術だけでなく礼儀や所作を学び
人間としても成長できた





五島（ごしま） 将治（まさはる）さん
国際学科 4年
（和歌山県 箕島高校出身）

相撲部監督のスカウトで拓大に入学。4年間、毎日稽古に励み、全国学生選手権大会（インカレ）で決勝へ出場するなど実績を残すことができました。拓殖大学相撲部という最高のチームに出会えたことや、体育寮でのほかのクラブの友人との交流を通じてお互いを高めあうことができたのは、学生時代の大きな収穫でした。卒業後は大相撲の世界に入ります。早く幕内力士になって家族や監督、先生方に恩返しをしたいです。何事も、夢を叶えるには日々の鍛錬が大切。楽をしようとせず、毎日の努力を積み重ねてください。



7 海外

人間力向上に欠かせない
「カルチャーショック」を経験できた

長期留学の夢を叶えて半年間アメリカに滞在しました。途中、3週間かけてアメリカ各地を回ったこともあります。現地では想定外のことをたくさん経験し、その都度どうしたらいいかを考え抜くことで、冷静に対応できる力が身についたと感じます。卒業後はワーキングホリデーで渡英予定です。2年間、お金と時間が許す限りなんでも挑戦しようと思っています。私は「今しかできない」という気持ちで充実した大学生活を送ることができました。「悩んでいるならとりあえず行動!」をお勧めします。



中村（なかむら） 友哉（ゆうや）さん
国際ビジネス学科 4年
（長崎県 鎮西学院高校出身）

卒業後の
競技継続者は
こちら



拓大ACTIVE!

拓殖大学課外活動

アーチェリー部

1964年の創部から60年と、麗澤会の中でも伝統あるクラブのひとつです。男女とも関東大学リーグで1部に所属し、全国大会の上位入賞者も多数。部員は経験者だけでなく大学に入学してから始めた初心者も。自分のレベルに合わせ、それぞれの目標を楽しく追求できるような環境を整えています。



後列左から　安齋歩さん（経営学科1年）、松本直斗さん（経営学科3年）、古屋凜之佑さん（経営学科1年）、
鈴木敦也さん（経営学科2年）、阿部山弘太さん（電子システム工学科2年）、仁和友也さん（経営学科3年）
前列左から　樋口未来さん（国際学科2年）、澁谷凛さん（機械システム工学科1年）、中村凜玖さん（経営学科3年）、
瀬戸山結月さん（国際学科3年）、宮本和秀さん（経営学科2年）

自分と向き合うメンタルスポーツならではの魅力を全員で楽しんでいます!

アーチェリーは、離れたところにある円形の標的を弓矢で射（う）ち、矢が刺さった場所の点数を競うスポーツです。一見シンプルですが、アーチェリー部主将の中村 凜玖さん（経営学科3年）によれば、その分集中力と精神力が試される「メンタルスポーツ」なのだそうです。

「ほかのスポーツと比べると体力はそこまで必要とされません。個人に合わせて弓の重さや弦の張りの強さなどを調整できるので、初心者でも始めやすいスポーツだと思います」

普段の練習では、メインである的を射つ練習に加えて筋トレも。そうしたメニューは、主将の中村さんをはじめ、部員自身で考案しているそうです。

「監督やコーチに言われた通りではなく、選手目線でメニューをつくる『自由さ』がアーチェリー部らしさかなと。その半面、部員全員が納得するメニューをとりまとめるのは大変な部分もあります」

練習を重ねて自己ベストを更新した時、また自分の思い描く射型（射つまでのフォーム）で狙い通りに射つことができた時、このスポーツの醍醐味を感じると言います。

「フォームはみんな同じに見えるかもしれませんが、競技者の視点で見ると人によって全く異なります。いろいろ試しながら、自分に一番しっくりくる形を追求していきます」

最もスタンダードな「ターゲットアーチェリー」の競技シーズンは、4月の関東学生リーグ戦に始まり、10月の関東学生新人個人選手権大会まで。

「一番の山場は6月の全日本学生王座決定戦です。2024年は男子が出場して9位という結果でした。男子はベスト4、女子はまず出場をめざして頑張っています」

もっとも中村さんは、大会で優秀な記録を出すことだけがアーチェリーの楽しさではない、とも語ります。

「大会に出る、自己ベストを更新する、などはもちろん立派な目標ですが、ひとつの競技を4年間続けるだけでもすばらしいゴール。そうした一人ひとりの目標にしっかりと応えられる部活にしたいなと思っています」

他大学との交流も楽しみのひとつ。2024年は初めて、来日した台湾の国立体育大学のアーチェリー部員との合同練習が実現しました。

「これまでもリーグ戦の前に関東の他大学と練習試合を行うことはありましたが、海外の大学とは初めて。レベルの高さ、射型の美しさに驚き、とてもいい経験になりました」

今年もまもなく、夢の島公園アーチェリー場で関東学生リーグ戦が始まります。

「アーチェリー部全員で出場をめざして頑張っていますので、応援よろしくお願いします!」

年間の主な活動

- 4月　関東学生男女リーグ戦
- 6月　全日本学生王座決定戦
- 8月　関東学生個人選手権大会
- 9月　夏合宿
- 　　全日本学生個人選手権大会
- 10月　関東学生新人個人選手権大会
- 12月　関東学生インドア個人選手権大会
- 1月　全日本学生インドア個人選手権大会

アーチェリー部の最新情報はコチラ!

X　@takudai.archery

Instagram　takudaiarcheryclub

TOPICS



2024年3月、アーチェリー練習場の防寒設備工事が完了し、6月にはお披露目会が開催されました。これで寒い時期も集中して練習することが可能に! この設備は創部60周年事業としてOB・OG会会長の山本善政氏より寄贈されました。



2024年9月、台湾から国立体育大学のアーチェリー部の皆さんが来日し、合同練習を行いました。これは、本学アーチェリー部の山本博特任コーチが、国立体育大学の学長および総監督と厚い親交があることから実現したものです。







a リーグ戦の際に撮影した集合写真　b 定期的に他大学と練習試合を行います　c リーグ戦入れ替え戦の様子　d 新人戦には1年生6人が出場しました

ロングインタビューはTACT WEBへ!　https://tac.takushoku-u.ac.jp/

麗澤会News

課外活動ポータルサイト「拓大Active!」
▸▸▸ act.takushoku-u.ac.jp

女子陸上競技部

過去最高位の総合4位

■ 試合名
全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)

■ 開催日・会場
12/30(月)
静岡県・富士市～富士宮市

■ 試合結果
総合4位
2時間24分5秒



レスリング部

菊地選手と三浦選手が優勝

■ 試合名
内閣総理大臣杯全日本大学選手権



■ 開催日・会場
11/9(土)・10(日) 大阪府・堺市金岡公園体育館

■ 試合結果
団体戦 準優勝

フリースタイル 57kg級 優勝
菊地 優太(国際学科2年 飛龍高校出身)

フリースタイル 86kg級 準優勝
本橋 知大(経営学科2年 丹後緑風高校出身)

フリースタイル 70kg級 準優勝
有馬 鉄太(国際学科4年 飛龍高校出身)

フリースタイル 92kg級 優勝
三浦 哲史(国際学科4年 網野高校出身)

ボクシング部

山崎選手が優勝

■ 試合名
全日本選手権大会(男女個人)

■ 開催日・会場
11/26(火)～12/1(日) ひがしんアリーナ

■ 試合結果
女子フェザー級 優勝
山崎 亜姫(経済学科1年 札幌工業高校出身)
男子ライト級 準優勝
藤田 大夢(経済学科3年 江南義塾盛岡高校出身)

空手道部

北川選手が優勝

■ 試合名
船越義珍杯 世界選手権大会

■ 開催日・会場
10/25(金)～27(日)
群馬県・高崎アリーナ

■ 試合結果
女子個人組手 一般女子の部 優勝
北川 日奈子
(国際学科2年 相模原高校出身)

写真研究会

最優秀賞を受賞

学生写真研究会



■ 開催日・会場
11/2(土) 埼玉県・航空自衛隊入間基地

■ 受賞結果
大学生・専門学校生の部 最優秀賞
伊藤 陽介さん(経営学科1年 上田東高校出身)

審査員評「適切な被写界深度によって背景をうまくボカすことにより背中の文字が強調されて主役が明確となっており、頼もしげな整備員が感じている誇りや、技術の継承の大切さなどを想像させる秀逸な作品です。」

相撲部

10年ぶりに団体で準優勝

■ 試合名
全国学生選手権大会



■ 開催日・会場
11/2(土)・3(日)
両国国技館

■ 試合結果
団体戦 準優勝

馬術部

渡邊選手が準優勝

■ 試合名
関東学生自馬競技会

■ 開催日・会場
11/15(金)～17(日) JRA馬事公苑馬術競技場

■ 試合結果
会長杯JRA 馬場馬術競技 第二課目B 準優勝
渡邊 菜々美(国際日本語学科1年 宇都宮白楊高校出身)

アーチェリー部

松本選手が3位

■ 試合名
関東学生インドア個人選手権大会

■ 開催日・会場
12/7(土)・8(日) BumB東京スポーツ文化館

■ 試合結果
リカーブ男子80m 3位
松本 直斗(経営学科3年 生浜高校出身)

女子バスケットボール部

インカレ総合3位

■ 試合名 全日本大学女子選手権大会

■ 開催日・会場 11/29(金)～12/15(日)
国立代々木競技場第二体育館 ほか

■ 試合結果 3位

優秀選手賞
ンウォコマーベラス アダクピクター
(国際学科4年 ナイジェリア出身)

アシスト王
佐藤 恋々(経済学科3年 札幌山の手高校出身)

2・3月イベントインフォメーション

アカペラ同好会 三歌月
2/22(土)
三歌月 冬ライブ 八王子エディション
(八王子国際キャンパス 麗澤会館90周年記念ホール)
3月上旬
三歌月 冬ライブ 文京エディション
(文京キャンパス E館1階後藤新平・新渡戸稲造記念講堂)

女子陸上競技部
3/16(日)
日本学生女子ハーフマラソン選手権大会
(島根県・まつえレディースハーフマラソンコース)

吹奏楽部
2/6(木)
第58回定期演奏会
(八王子市南大沢文化会館)

ライフセービング部
2/15(土)・16(日)
全日本学生プール競技選手権大会
(栃木県・日環アリーナ栃木)
3/8(土)・9(日)
全日本プール競技選手権大会
(東京アクアティクスセンター)

陸上競技部・女子陸上競技部
2/16(日)
全国大学対校男女混合駅伝
(大阪府・ヤンマースタジアム長居および長居公園内特設コース)

写真研究会、書道研究会、美術研究会、デジタルコンテンツ愛好会
2/14(金)～18(火)
拓殖芸術祭
～私たちの現在地展～
(八王子市学園都市センター11階)



※内容が変更になる場合もありますので、詳細は各イベントホームページで確認してください。

拓大で感じる“グローバル”

World wide

拓殖大学に通う「留学生」にフォーカスして、
世界を身近に感じよう!

How much does it cost?

日本から海外に留学する場合の海外留学費用

※2023年実績

長期研修(夏季休暇から約半年)
平均費用 ¥1,243,505
High アメリカ(6ヶ月) ¥2,367,900
Low 台湾(5ヶ月) ¥428,050
※現地学費については減免制度が適用されています。さらに、成績上位者は、全額免除されます。

短期研修(夏季休暇・春季休暇に1～4週間)
平均費用 ¥581,154
High アメリカ(4週間/商学部) ¥838,305
Low インドネシア(2週間/国際学部) ¥227,710

Interview! 留学生に「留学」について聞きました!



スリランカから来ました!
ナーワラゲー メーダーウィ サクニカ クレさん
国際ビジネス学科 4年
(神奈川県 岩谷学園 よこはまITビジネス専門学校出身)

Q1 留学しようと思ったきっかけは?
子どもの頃から外国に行くのが夢でした。留学に踏み切った直接のきっかけは祖父です。

Q2 留学先に日本を選んだ理由は?
新潟県内で教授を務める祖父から、いつも日本の話を聞いていたため、自然と日本の文化や慣習などに興味を持つようになりました。

Q3 拓殖大学を選んだ理由は?
専門学校の先生に勧められたからです。拓大は留学生支援の制度が手厚く、就活のときも留学生専門の職員さんが丁寧に手助けしてくださいました。私も後輩に拓大を勧めています。

Q4 留学するために準備したことは?
必要な書類はもちろん、まず大きなカバンを用意しました。新しい服のほか、日本では手に入れづらいと思われる乾物類、飲み慣れている薬などを準備しました。

Q5 日本で行ってみたいところは?
いつか富士山に登ってみたいです。また、スリランカと気候などが似ているという沖縄にも行ってみたいですね。東京では手に入らない、いろいろな果物が沖縄にはあると聞きました。

Q6 これからの目標を教えてください
今は4月から正社員として就職予定の企業でアルバイトをしています。なんでも前向きにチャレンジして仕事でスキルアップしていくと同時に、心から満足できる豊かな生活を送りたいと思います。

Q7 留学を考えている人へアドバイス
まずは語学。現地の言葉で会話さえできれば楽しく過ごせます。知らない環境で一人暮らしをする中、「どんな経験も自分の糧になる」と、すべてを前向きにとらえる姿勢も大切です。いつか振り返って自分を誇りに思えるでしょう。





エクアドルから来ました!
モレノ マチャド イーサン アレキサンダさん
国際ビジネス学科 3年
(東京都 拓殖大学 別科 日本語教育課程出身)

Q1 留学しようと思ったきっかけは?
私の夢は、世界を旅してさまざまな文化、言語、食べ物に触れることです。国際的な生活を送りたいと思い、留学を決めました。

Q2 留学先に日本を選んだ理由は?
安全性や経済的豊かさといった明白な理由のほかに、アニメ、文化、食べ物など、日本には私の心を捉えるさまざまな魅力があるからです。

Q3 拓殖大学を選んだ理由は?
友人が以前拓大に留学しており、留学生を支援してくれる大学だと教えてくれたからです。

Q4 日本語の難しい部分はなんですか?
オノマトペです。「ザクザク」や「カタカタ」などの表現が外国人にとっては非常に抽象的で理解しにくいです。初めてこのような言葉を聞いたとき、赤ちゃんの言葉のように聞こえて笑ってしまいました。

Q5 日本に来て驚いたことは?
愛情表現の違いです。私は相手を抱きしめたりキスしたり、言葉で愛情をストレートに表現するのが好き。恋人だけでなく友人や家族に対しても同じです。でも、日本ではそういったことを恥ずかしく感じる人が多いと知り、驚きました。

Q6 母国が恋しいときは?
朝食の時です。エクアドルでは朝食は一日のエネルギーを補給する大事な食事で、たっぷり量があるのが普通です。でも日本ではほとんどのお店が11時開店で、朝からガッツリ食べることがなかなかできません。

Q7 これからの目標を教えてください
現在、自分の会社を立ち上げる準備を進めています。卒業後は就職せず、自分自身のビジネスを始めることをめざしています。

Q8 留学を考えている人へアドバイス
漢字は練習すれば独学でも学べますが、日本で生活する上では単なる筆記試験の点数よりも実用的な会話能力の方が重要だと思います。書く練習にはいずれ飽きるかもしれません。それより日本語で聞いたり話したりすることを楽しむといいでしょう。



Cover Model
ルイス カスカベ アリサ オリアナさん
国際学科 3年
(神奈川県 横浜創学館高校出身)

次号は5月1日発行予定です
この冊子に関する、ご意見・要望は「広報室」までお願いします。なお、「学報TACT」は保護者等住所宛てにお届けしており、ホームページからもご覧になれます。

【保護者等の皆様へ】 送付先変更は電話では受け付けておりませんので、学生本人が学務課に直接届け出てください。

TACT WEB
https://tac.takushoku-u.ac.jp/

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C002724